



歌い継いでいく 「ふるさとの民謡」を

日本民謡愛好家
加瀬 洋太さん(野中)

「ヨーイ、ヨイヨイ」とはやし言葉で調子を取り、民謡「飯岡盆唄」が響いた。披露してくれたのは、まだ社会に出て間もない19歳の青年だ。

民謡は幼いころから自然と耳にしていた。歌の師匠と加瀬家は家業が同じだったことから、50年来の付き合い。家族が、師匠たち民謡愛好家の発表会によく連れて行ってくれたそうだ。ただ「やってみよう」と始めたのは3年ほど前。「まだ声が定まらなくて」と頭をかく。

「いつから」「どういったときに」など、民謡の歴史的背景を知ること大切だと思っている。当時の風俗や言葉を学び、情景を思い浮かべながら歌う。「そうすると、ただ歌うのとは違い、何とも言えない歌になるんですよ」と。なお調べ上げたものは「千葉県の民謡」や「飯岡盆唄」と題し、独自の文献としてまとめている。

昨年、民謡の県大会に飯岡盆唄で出場した。結果は残せなかったが「いつか優勝したいな」と思うようになった。そしてたくさんの人が集まる場で、旭の民謡を披露できたことがうれしかった。「千葉県の民謡、旭の民謡を多くの人に知ってほしい」と願っているから。

「ふるさとの民謡」へのこだわり。全国各地にいい民謡があるが、その土地に育った人が歌ってこそ出せる情緒があると感じている。「風土を知っている分、深い味わいが出て格別な歌になります。だから伝え残していかないと」——。そう話すと、稽古に向かった。

行政へ一言！

家の周辺はコミュニティバスが通りません。車を運転できない高齢者も多く、買い物など出掛ける際に不便です。もう少し運行ルートを開拓してくれたらと思います。

【飯岡盆唄】

江戸時代以来伝承とされる盆踊り歌。古く飯岡海岸での盆踊りで、よく歌われたという。先人たちの努力でレコード化もされた。

加瀬さんが所属する旭民謡会では、この歌を知ってほしいとさまざまな場で披露している。



おいしく食べよう

旭産

簡単・ヘルシーレシピ



カブの根の部分は淡色野菜、葉はビタミンやミネラルをたっぷり含んだ緑黄色野菜です。丸ごと味わいましょう。

保存は、葉と根を切り離して別々にポリ袋に入れておくと、おいしさが保たれます。

材料 (4人分)

カブ…………… 3個	ホタテ缶…………… 小1缶
カブの葉…………… 1個分	豆乳…………… 400ml
ショウガ…………… 1かけ	酒…………… 大さじ2
シメジ…………… 1/2株	塩・こしょう…………… 各少々
ごま油…………… 小さじ1	

VOL.49 カブの豆乳スープ

1人分の栄養価 エネルギー99kcal、塩分0.5g

作り方

- ①カブは皮をむかずに縦8等分にし、隠し包丁を入れる。葉と茎は3cm程度の長さに切る。
- ②ショウガは千切り、シメジは小房に分ける。
- ③鍋にごま油と②のショウガを入れ弱火にかける。
- ④③にホタテ缶の中身を汁ごと加え、さらに豆乳、酒、①、②のシメジを入れて中火で沸騰させる。
- ⑤煮立ったら弱火で10分ほど煮込み、塩、こしょうで味を調える。

※残ったカブの葉は塩ゆでし、冷凍しておくくと煮物や彩りなどに使えて便利です。

岡旭市保健推進員協議会(☎63-8766・健康管理課予防班内)

データシート

火災		交通事故		人のうごき		【2月1日現在】		前月比
【1月】 平成26年の累計		【1月】 平成26年の累計		【1月の移動】		人 口	68,453人	(▲81人)
建物火災	1件 (1件)	事故件数	152件 (152件)	転入	105人	出生	33,479人	(▲54人)
その他の火災	3件 (3件)	死亡者数	1人 (1人)	転出	153人	死亡	34,974人	(▲27人)
						世帯数	24,983世帯	(▲16世帯)